

# 回 覧

奥州藤原氏の時代、比爪は平泉に並ぶ地域であったとも言われます。樋(比)爪館は、藤原氏一族樋爪氏の居館・政庁跡と推定され、平泉の黄金文化を支えた産金の支配と、北方交易の拠点と考えられます。

みんなで郷土の歴史を掘り起こしましょう！

## 平泉世界文化遺産登録記念

赤石地区ひづめ館懇話会 第6回定期講演会

# 「平泉と比爪」

講師 岩手県立博物館専門学芸員

阿部 勝 則 氏

期 日 平成23年9月25日(日曜日)

午後2時 ~ << 受付午後1時30分開始 >>

会 場 紫波町北日詰字八反田 (JR日詰駅→徒歩2分)

赤石公民館 TEL 019-676-3999

参加料 300円 当日受付にていただきます。

主 催 赤石地区ひづめ館懇話会 ・ 紫波町赤石公民館

協 賛 紫波町平泉関連史跡連携協議会 ・ 紫波郷土史同好会

※ 資料等準備の都合上、FAXまたは電話で、9月20日(火)までに、赤石公民館内事務局に申し込みしてください。

(当日の参加申し込みも受け付けますが、資料をお渡しできない場合がありますので予めご了承ください。)

FAX・電話番号 019-676-3999(赤石公民館) or 携帯090-3125-3776(高橋)

### 講演会『平泉と比爪』参加申込み

氏名		電話番号	
住所	〒		



# 樋爪氏のゆかり探訪

## 豊富な史跡に参加者驚く



不動明王絵像碑や樋爪五郎季衡の碑などがある箱清水石碑群

小学校の北側から掘  
跡(現在は町道)が見つ  
かり東側と西側でも一  
部見つかった。堀  
の幅は上が7、8m、  
下が1mほど、深さは  
2mほどという。同町  
南日詰字八坂地内の下  
川原一遺跡では3年前  
に12世紀初めから末、  
るの白磁四耳壺(はく  
じつじ)の破片、刀  
子(とこ)の破片、手く  
ねかわらけのほか、樋  
爪氏の一族のだれかを  
埋葬したと思われる墓  
跡も出土している。

遺跡巡りでは五郎沼  
周辺に限定し赤石小学  
校前かけられている  
樋爪館跡の標示板、堀  
跡、五郎沼西側の堤防  
沿いにある夜泣き石  
(築堤時、堤防の決壊  
が続き水神の怒りを鎮  
めるため人柱となつた  
娘の供養碑)、蛇の塚  
跡(経塚の跡で昭和初  
期に青銅の二重経筒、  
魔よけの短刀が見つか  
つた場所)、古代ハス  
也、箱清水の古碑群、

樋爪館の場所は紫波  
町赤石地区。12世紀に  
造営されたと考えら  
れ、中心部は現在の赤  
石小学校付近になる。  
薬師神社を含むエリア  
で、泉の柳え御所に  
匹敵する街並みが形成  
されていた可能性も推

奥州藤原氏の一族とされる樋爪氏の居館だった紫波町南日詰  
の樋爪館跡や館敷地内の遺跡めぐり(主催・赤石地区ひづめ館  
懇話会、高橋敬明会長)が1日、町内外から12人が参加して行  
われた。奥州藤原氏ゆかりの地があることや史跡の多さ、館が  
造営された800年前の地形がそのまま保たれていることなど  
を知り、驚きの連続だったようだ。

## 紫波町 赤石 五郎沼や周辺遺跡へ

薬師神社などを半日か  
けて見て回った。  
箱清水の石碑群は13  
基あり、この中には宇  
都宮に流された樋爪五  
郎季衡の碑、鎌倉末ご  
ろに描かれた不動明王  
の絵像碑などがある。  
不動明王は肉眼で判別  
不能だが、拓本研究者  
が取った拓本には線刻  
が写し取られていると  
いう。

盛岡市から参加した  
60代の男性は「素晴らしいものを目にしたと  
驚いていた。歴史の重  
みを感じる。いままで  
見過ごされてきたのが  
不思議でならない。樋  
爪館周辺に長年住んで  
いる50代の主婦は「こ  
の地に嫁いでから30年  
も住んでいるのに、こ  
んなに素晴らしい場所  
があるとは知らなかつ  
た。地域の歴史を知る  
ため何度も見に来た  
い」と、史跡の数々に